

2017年度 学習院大学史学会総会

— 9: 30~10: 45 小講堂 (学習院創立百周年記念会館 3階) —

第33回 学習院大学史学会大会

— 11: 00~18: 00 学習院創立百周年記念会館 —

2017年 **6月17日(土)** 総会 9: 30~10: 45
大会 11: 00~18: 00

▶ 第1部 11: 00~12: 00

【第1会議室】 鎌倉幕府裁判における和与と〈違背咎〉

工藤祐一 (学習院大学大学院博士後期課程)

【第3会議室】 南宋末の西湖—杭州知事の政策と政治背景から— (仮)

原 瑠美 (学習院大学国際研究教育機構PD共同研究員)

▶ 第2部 13: 00~14: 00

【第1会議室】 昭和戦前期の宮中と官僚—宮内省の機構改革を中心に—

芳澤直之 (外務省外交史料館職員 編纂担当)

【第3会議室】 イングランド王エセルレッド2世と世俗有力者

岡本孝信 (学習院大学大学院博士後期課程)

▶ 第3部 14: 10~15: 10

【第1会議室】 15世紀末—16世紀におけるパリ大学の特権 —王権との関係に着目して—

五島静夏 (学習院大学大学院博士前期課程修了)

【第3会議室】 中国古代帝国の交通と権力

—専制君主の誕生における「符」の役割—

莊 卓燐 (学習院大学大学院博士後期課程)

▶ 講演 15: 30~18: 00 小講堂

◎ 第二次大戦下における連合軍首脳の間接書簡について

— 蒋介石を中心に —

麻田雅文 (岩手大学准教授)

◎ 一四世紀の公武関係・朝幕関係

家永遵嗣 (学習院大学教授)

▶ 懇親会 18: 00~20: 00 第1~3会議室

学習院大学史学会

(<http://-cc.gakushuin.ac.jp/~hist-soc/>)

学習院大学文学会共催

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

学習院大学文学部史学科研究室内

お問い合わせ: shigakukaitaikai@yahoo.co.jp

第一部

工藤祐一 鎌倉幕府裁判における和与と〈違背咎〉

鎌倉幕府が滅亡したとき、訴訟実務を担っていた奉行人たちの多数は、北条氏とともに滅亡したのではなく、建武政権・室町幕府へ出仕する。また、室町幕府は、鎌倉幕府法を継承・発展させた政治権力であることも知られている。これらの点を踏まえて、鎌倉幕府とその後の政権との連続・不連続が議論されてきた。

ところで、鎌倉後期の所領紛争では、荘園領主と地頭との間で和与が成立した事例を検出することができる。一方で、室町幕府裁判においては、一時期を除いてほとんど観察されない。訴訟実務を担う者は同一であるにも関わらず、なぜこのような差異が生まれるのか。本報告では、社会の実態から、幕府裁判における和与について検討する。

原 瑠美 南宋末の西湖—杭州知事の政策と政治背景から— (仮)

南宋時代、とりわけ理宗・度宗期の西湖周辺の開発整備について、当時の杭州知事の政策と政治背景から関係性を考察する。

芳澤直之 昭和戦前期の宮中と官僚—宮内省の機構改革を中心に—

大正後期から昭和戦時期にかけて、宮内省では、内務省などから高等文官試験を経た官僚たちが高等官として中枢を担うことになった。「宮中・府中の別」原則の徹底が叫ばれる昭和戦前期において、彼ら高等文官は如何にして「宮内官僚」としての自我を確立し、そして待遇改善を望む判任官と、どのようなせめぎあいが生じていたのか。また、高等官は宮中空間において宮内省をどのように位置づけようとしたのか検討していきたい。

岡本孝信 イングランド王エセルレッド2世と世俗有力者

エセルレッド2世については伝統的に「愚王」とする説が信じられてきた。しかし近年、エセルレッドの治世において政治的・行政的に発展があったと主張され、エセルレッド2世は愚王ではなかったとする考え方が浸透してきている。今回はエセルレッド2世についての研究史の整理を行う。また、エセルレッド2世期の世俗有力者の中でエアルドルマンと呼ばれる身分の者たちについて言及したい。

第二部

五島静夏 15世紀末—16世紀におけるパリ大学の特権 —王権との関係に着目して—

大学史研究において、中世末期は大学が王権に従属し「衰退」していく時代と捉えられてきた。その一方、16世紀の王権を扱う研究は、当時の中央集権体制は未成熟であったとしている。本報告では、ルイ12世およびフランソワ1世の治世を中心にパリ大学の特権を裁判・義務免除・書物に分類して検討し、15—16世紀の王権にとってのパリ大学の重要性を明らかにする。

荘 卓燐 中国古代帝国の交通と権力 —専制君主の誕生における「符」の役割—

中国古代帝国史論は、長年にわたって研究が積み重ねられ、既に多大な研究成果が挙げられている。先行研究を踏襲した上で、秦漢時代の交通を主眼とする本研究は、中国古代社会のような原則的に地域移動が禁止される環境の中で、天子号の機能を継承し地域移動の特権を所持する皇帝が、「符」の発行を通して特権の分与を行い、専制権力が形成されていく過程を考察することを目的とする。

第三部

講演

15:30～18:00

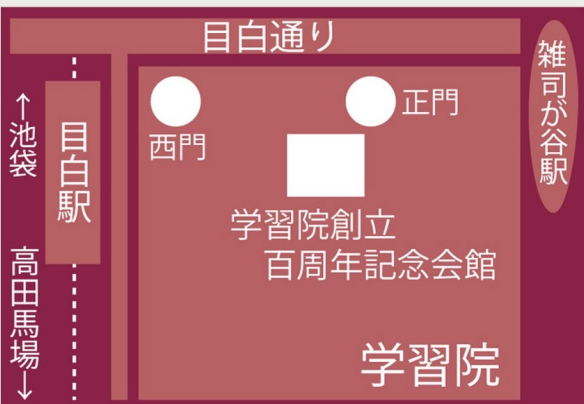
第二次大戦下における連合国首脳の往復書簡について
— 蒋介石を中心に —

麻田雅文

— 四世紀の公武関係・朝幕関係

家永遵嗣

講演



JR山手線「目白」駅下車、徒歩2分
東京メトロ副都心線「雑司ヶ谷」駅下車、徒歩7分

学習院大学史学会